

CASBEE神戸ver.3
JR摩耶駅NKビル新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40		-	3.1
1 音環境						2.6	0.15	3.8	1.00	2.7
1.1 室内騒音レベル		騒音レベル≤40				3.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	3.6	0.40	
1 開口部遮音性能		T-2以上				3.0	0.50	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.50	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		壁、天井に吸音材を使用している				1.0	0.20	4.0	0.20	
2 温熱環境						2.2	0.35	2.6	1.00	2.2
2.1 室温制御						2.2	0.50	3.0	0.50	
1 室温						1.0	0.40	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.24	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.9	0.25	4.1	1.00	3.0
3.1 昼光利用						1.9	0.33	4.2	0.30	
1 昼光率		昼光率1.25%以上				1.0	0.50	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.50	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						4.0	0.25	4.0	0.30	
1 昼光制御		待合:ブラインド、庇を、病室:カーテン、庇を組み合わせて制御				4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.13	3.0	0.15	
3.4 照明制御		ベッド単位の細かな照明制御ができる				3.0	0.29	5.0	0.25	
4 空気質環境						4.5	0.25	4.6	1.00	4.5
4.1 発生源対策						5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		建築基準法規制対象外建材、他VOCも放散量が少ない建材を採用				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.5	0.30	4.0	0.38	
1 換気量		建築基準法および建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍				4.0	0.50	4.0	0.33	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室面積の1/10以上				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.5
1 機能性						4.1	0.40	3.4	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.8	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観		物販:3.3m以上確保				5.0	0.05	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.05	-	-	
3 内装計画		内装計画の段階でコンセプトや照明計画などを反映				5.0	0.89	4.0	0.50	
1.3 維持管理						5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計の取組みの該当項目数が標準以上				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		維持管理機能の確保における取組の該当項目数が標準以上				5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外・多湿部分系統にガルバリウムダクトなどを使用している				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.5	1.00	3.4	
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	4.0	0.50		
1	階高のゆとり	物販・共用部:3.9m以上確保、宿泊部:3.7m以上確保	5.0	0.60	4.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.3	4.0	0.40	4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4	
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮			周辺のまちなみや景観に対して、標準以上の配慮を実施		4.0	0.40	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.73		5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.85		2.7	0.50	-	2.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-		
4.1	モニタリング			-	-	-		
4.2	運用管理体制			-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			節水コマ等に加え省水型機器を採用している		4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			磁器質タイル、長尺シート、天井板		5.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている		5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.20	-	-	4.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			化学物質排出把握管理促進法対象物質を含有しない建材4種以上		5.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-		
1	消火剤		-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している	5.0	0.50	-	-		
3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4	
1 地球温暖化への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4	
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5	
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用していない		5.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制	管理用車両などの駐車場施設の確保をしている	4.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制			-	-	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			4.7	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリスト項目の過半を満たしている	5.0	0.70	-	-		
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	建物外壁の反射光の発生を低減させる取組みを実施	4.0	0.30	-	-		